

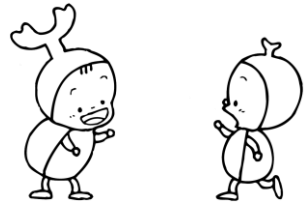
喜志小だより

令和2年8月号



さあ、やってみよう! 『喜志一心(きしいっしん)』 ~児童・保護者・地域・教職員が、喜志小で心ひとつに~

人間の可能性を信じよう



~2020年、みんなで伸びる『喜志の夏』~

校長 塩野 義和

間もなく1学期が終了します。児童・保護者・地域・教職員が、これほど不安になり、これほど考え、そしてこれほど動いた、更にこれほど世の中が揺れた1学期は、本校148年の歴史の中でも、『戦争』の時期の他には、なかったのではないのでしょうか。



そんな1学期、まずもって、

すべての“喜志っ子”に「ありがとうございます!」

「校長先生は、(喜志小を)どんな学校にしたいですか?」

過日の休み時間、ある児童に話しかけられました。今までの教員生活で、

「みんなは、どんな学校(学年・学級)にしたいですか?」と数えきれない

ほど児童や教職員に尋ねてきましたが、尋ねられた経験は(思い出せない

のかも知れないけれど)なかったもので、正直戸惑いながら、でもこの質問が

すごく嬉しく、自信を持って「楽しい学校やで!」と答えました。

と問いかけの真意はどこにあるのか。

わたしには、この児童に学校や家庭で満たされない何か、期待している何か

があるような気がしてならないのです。と同時に、みなさんが同じように(「あ

なたは、(喜志小を)どんな学校にしたいですか?」)と問われた時、たくさ

んの答えがあったらいいなあとも考えています。そこからコミュニケーション

が生まれ、次には、「どんな『喜志』にしたいですか?」と進んでいくので

すから。

子どもたちには、無限の可能性がります。我々大人が自らの価値観を無理

に押しつけたり、先回りをしたりして、可能性を失わせてはなりません。自由

な発想ができる環境さえ整えてやれば、自ら考え、自ら動き出します。

子どもに干渉することなく、保護して(見守って)いきましょう。その中で、

子どもたちばかりでなく、我々大人も自らの可能性に気がつけば、これはも

う最高の『喜志の夏』になりますよね。

今年の夏休みは、いつもより短く19日間です。子どもたちには、大いに

遊び、そして大いに学んで欲しいものです。保護者のみなさん、「遊んでばっ

かりしていないで!」という前に、一緒に遊んでやってください。

(オンラインゲームで遊んでいる、ではなく、オンラインゲームに遊ば

れている、課金トラブルも起こっている実態も知りましょう。)

その上で、「勉強（課題）しいや！」という前に、一緒に学んでみてください。
い。「なんでやる？」この一言を親子で大切にしていきましょう。

さあ、やってみよう！

みんなで伸びる『喜志の夏』

いつでもどこでも『喜志一心』



【 お知らせとお願い 】

・熱中症対策のためにも、お茶を必ず、また十分な量を持ってきてください。

※ 忘れた場合、学校から連絡させていただくこともあります。遅れてでも、お茶をもってきていただきたいです。

・給食のエプロンは8月6日（木）まで使用します。洗濯をして8月28日（金）までに持ってきてください。

・毎年9月最初に、校内作品展が行われますが、今年度は夏休み期間が短く、毎年夏休みに行っていた工作の宿題を、今年実施しませんので、校内作品展も中止させていただきます。夏休み応募作品については、7月22日に配布したお手紙をご確認していただきますようお願いいたします。

・本校敷地内に、車を入れることや、駐車するのは禁止です。

※ 特別な事情があり、学校長の許可がある場合はその限りではありません。その際にも接触事故がないように十分に注意してください。